



学校だより 11月号

文京区立第一中学校 令和4年11月18日(金)

手間(てま)

校長 田島佳子

手間：何かをするのにいる労力(工程や技能)、時間

手間がかかるというと、世話や手入れをするのに多くの労力や時間、心労が伴う様のことを意味し、大変であるというあまりいい意味で使われないことが多いです。しかし、手間をかける、手間ひまをかけるとなると違ってきます。時間をかけ、労力・技能も十分に費やし、丹念に制作・作成したり、育てたりする様子を表現します。あえてそうして大事にするという良い意味で使われます。

YouTube で丁寧な暮らしをしている若者の動画を最近見ました。「暮らしが好き」「暮らしを楽しむ」という感じで自分の日々の暮らしを配信しています。あえて手間のかかるストーブや道具、粉から作るうどんやパスタ、時間がかかる料理、野菜づくり、DIY などは、その手間を愉しんで慈しんでいるかのようです。芋からこんにゃくを作るなどは、大変手間がかかります。お金を出せば買えるのと思うものをあえて手作りしています。

手間のかかるものはお金を出して買い、時短料理や時短家事で手に入れた時間をやりたいことに有効に使っていくという風潮に逆行しているように感じます。ある意見交換会で今の中学生や社会人は大変だ。たくさんの情報を集めないと会話もできない。だから今、話題のテレビ番組や映画などは二倍速で見る、という話を聞きました。じっくり時間をかけて何かをするのではなく、なるべく無駄な時間を省き、効率を重視するということなのでしょう。

ぬか漬けはスーパーで売っていますし、レトルト食品や、冷凍食品もおいしいものが多いです。では、なぜわざわざ、手間と時間をかけ、一から作っていくのでしょうか。それは、作る過程が楽しいから。うまくできるかどうかを試行錯誤して失敗も楽しんでいるからなのだと思います。うまくいって思いのほかおいしい料理ができた時は、おなかだけでなくきっと心も満たされるのでしょうか。昨年、孫にせがまれて、毛糸でマフラーと手袋を編みました。久しぶりの編み物でしたので、決して上手ではないし、売っているものの方が素敵です。でも孫はそれらを身に着けると、「おばあちゃんが作ってくれたの、どこにも売ってないのよ。」と自慢していた様子を娘から聞きました。

価値観は人それぞれです。手間がかかるから手間をかけないようにする。手間がかかってもあえてそれを楽しむ。どちらがいいということではありません。状況に応じて選べばいいのだと思います。ただ、時短や効率ばかりを追い求めずに時には、無駄だと思う時間や手間の中にあるかもしれない何かを見つけてもいいのではないのでしょうか。やらなければならない事がたくさんあって、そんな暇はないかもしれませんが、いそがしさに押し倒されて大事な心をなくさないためにも、たまには、手間をかけてみたら?と思うのです。

道徳授業地区公開講座



11月12日(土)視聴覚室で道徳授業地区公開講座を保護者向けに行いました。本校PTA会長である林家久蔵師匠にご講演と落語をお願いしました。
テーマ
「笑顔のある福祉と教育」

学習発表会

10月29日(土)
午前中に合唱コンクール、午後に部活動の発表がありました。
展示は、一時間目に見学をしました。

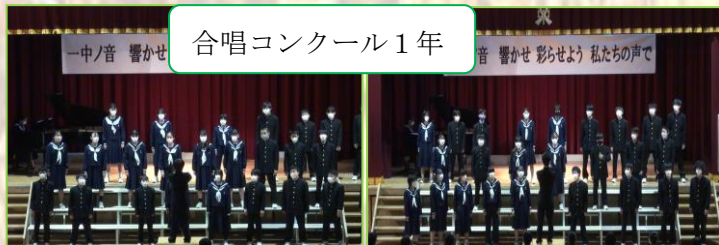
開会式



生け花



合唱コンクール1年



合唱コンクール2年



合唱コンクール3年



講評



表彰



舞台発表



展示

